

令和元年度「土木学会選奨土木遺産」に 『旧浦村鉄橋』が認定されました。

長岡市にある「旧浦村鉄橋（きゅうらむらてつきょう）」が、令和元年度の「土木学会選奨土木遺産」に認定されました。

旧浦村鉄橋は、1898年に北越鉄道が鉄道橋として設置したものです。その後、1952年に日本国有鉄道から新潟県に払い下げられ、岩田橋、不動沢橋、旧越路橋の道路橋として分割整備されました。

岩田橋は新潟県が、不動沢橋は長岡市が管理しており、現在も活躍しています。このように、1橋を複数の橋に分割して再利用された例は全国的にも珍しく貴重となっています。

また、旧越路橋は、新潟県初の一般有料道路として拡幅整備され、1959年に開通しましたが、1998年に現在の越路橋に架け替えられるまでの、旧浦村鉄橋の時代から約100年間使用されてきました。2002年には旧越路橋の一部が長岡市越路河川公園に保存され、地域のコミュニティ活動の場として利用されています。



（現在の岩田橋）



（現在の不動沢橋）



（現在の旧越路橋（越路河川公園内））

岩田橋、不動沢橋は、旧浦村鉄橋が竣工から120年を経過していますが、道路橋として現在も活躍しており、全国的に見ても100歳を超える橋梁は少なく貴重となっています。

このことから、11月20日の「土木の日」記念講演会において認定書の授与式を行う予定です。

当新潟会では、現存する重要な土木構造物を選奨土木遺産に選定推薦をしており、直近では平成29年度に妙高市にある「万内川砂防堰堤群・日影沢床固工群」が選定されたほか、県内で土木学会選奨土木遺産に選定されている施設は、「萬代橋」、「長生橋」、「中山隧道」、「大間港」など12施設となりました。

なお、令和元年度の選奨土木遺産につきましては、「旧浦村鉄橋」を含め、全国で28箇所の施設が認定されました。



<http://jsce-niigata.com/>
（新潟会ホームページ）

毎日の暮らしを支える大切な「にいがた土木構造物の機能構造物めぐり」として、土木学会関東支部新潟会ホームページで紹介しております。

[問合せ先]

公益社団法人 土木学会関東支部新潟会（担当：本間）

電話 025-285-8886

新潟市中央区新光町6番地1（興和ビル7階）